

問合せ先：育成・イベントグループ 大平 Tel. 03-3262-8214 Fax. 03-3261-2204
【URL】 <http://www.jsae.or.jp/sympo/2011/scdl.php> E-mail: sympo@jsae.or.jp

日時：2011年12月14日(水) 10:00～17:05
会場：早稲田大学理工学部 63号館
(東京都新宿区大久保3-4-1)
主催：公益社団法人自動車技術会
協賛：(予定) (公社)石油学会・(一社)日本エネルギー学会・
(一社)日本機械学会・日本内燃機関連合会・(公社)日本
マリンエンジニアリング学会・(社)日本陸用内燃機
関協会

企画：ガソリン機関部門委員会
定員：120名

参加費(消費税込・テキスト1冊込)：
正会員 15,750円 学生会員 3,150円
賛助会員 22,050円 一般の方 31,500円
協賛学協会の会員 22,050円

参加申込方法：次のいずれかの方法でお申込み下さい。
①オンライン参加登録：(カード決済ができるようになりました) イベントカレンダー(【URL】 <http://www.jsae.or.jp/calendar/>) またはシンポジウムページ(【URL】 <http://www.jsae.or.jp/sympo/2011/scdl.php>)
②インターネットをご利用できない方：
上記、問合せ先へご連絡下さい。

参加申込締切日：2011年12月7日(水)

参加申込キャンセルについて：
申込締切日まで：キャンセル料は発生いたしません。ご入金済の場合は、送金手数料を除き返金いたします。
申込締切日翌日以降：ご出欠にかかわらずキャンセル料として、参加費全額をお申し受けます。なお、開催終了後、テキストは送付いたします。

参加のおすすめ

ガソリンエンジンが直面する技術課題は、エネルギーセキュリティをベースにした各種エネルギー問題への対応、地球温暖化対応のためのCO₂低減、大気汚染防止のための各有害排ガス成分の浄化などがあり、これらの課題に対して、新開発ガソリン機関の燃焼技術、新コンセプトエンジン、ガソリン機関の異常燃焼に関する研究、新燃焼技術、燃料関連技術等 将来のガソリンエンジンの進むべき方向を示すとともに各分野の専門家から最新技術動向を紹介していただく恒例のシンポジウムを開催します。

今後のガソリンエンジン開発および関連技術開発の一助とするためにも皆様の積極的なご参加をお待ちしております。
ガソリン機関部門委員会委員長 志賀聖一

ガソリン機関部門委員会



委員長
志賀聖一



幹事
佐藤唯史



幹事
島崎勇一



幹事
津江光洋



幹事
前田義男

*技術者育成の要素を持ったシンポジウムを技術レベルにより技術者育成講座として認定しています。
Standard Course：基礎、Intensive Course：中級、Professional Course：上級

プログラム：

- 10:00 開会挨拶 ガソリン機関部門委員会委員長
群馬大学大学院 志賀聖一氏
司会 津江 光洋氏(東京大学大学院)
ガソリン燃焼技術(Part1)
10:10 プロローダウン過給ガソリン HCCI エンジンの紹介
千葉大学 森吉 泰生氏
10:50 新型直列3気筒1.2L スーパーチャージャガソリンエンジンの燃焼性能設計
日産自動車(株) 三藤祐子氏
11:30 SKYACTIV-G 燃焼技術 マツダ(株) 養祖 隆氏
12:10 休憩
新機構・新コンセプトエンジン
司会 島崎 勇一氏(トヨタ自動車(株))
13:20 The Scuderi Split Cycle and the Miller Cycle: A Perfect Match
Scuderi Group LLC Deryk Langlais 氏
14:00 家庭用コージェネレーション用・複リンク式高膨張比ガスエンジン (株)本田技術研究所 直江 学氏
14:40 休憩
ガソリン燃焼技術(Part2)
司会 前田 義男氏(株)本田技術研究所)
15:00 高過給SIエンジンでの異常燃焼—スーパーノックの発生—
日本特殊陶業(株) 井上拓也氏
15:40 Solutions for EU6 Particulate Number in Gasoline DI Engines AVL List GmbH Dr.Guenter Fraidl
16:20 燃料性状がエンジン燃焼に与える影響
トヨタ自動車(株) 佐々木望氏
17:00 閉会挨拶 九州大学大学院 村瀬英一氏
17:05 閉会

◆プログラムは講師、会場の都合などにより予告なく変更となる場合があります。